

神戸市長田区真陽小学校区の概要



阪神・淡路大震災
では、住宅被害が
激しかった地区

新旧混在
人口約6,650人
高齢化率30%超



Photo: Seiji KONDO

神戸市長田区真陽小学校区の状況

Googlemapをもとに作成



南海トラフ巨大地震では
地区の8割が浸水する
(内閣府想定)

地震発生から
83分14秒

真陽地区

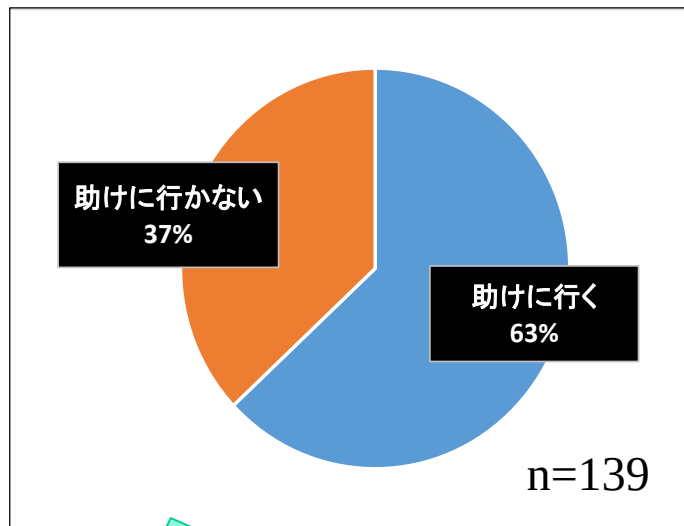
防災科研・鈴木進吾
NHK大阪、タニスタ

地震発生から
96分47秒

真陽地区



神戸市長田区真陽小学校区の状況

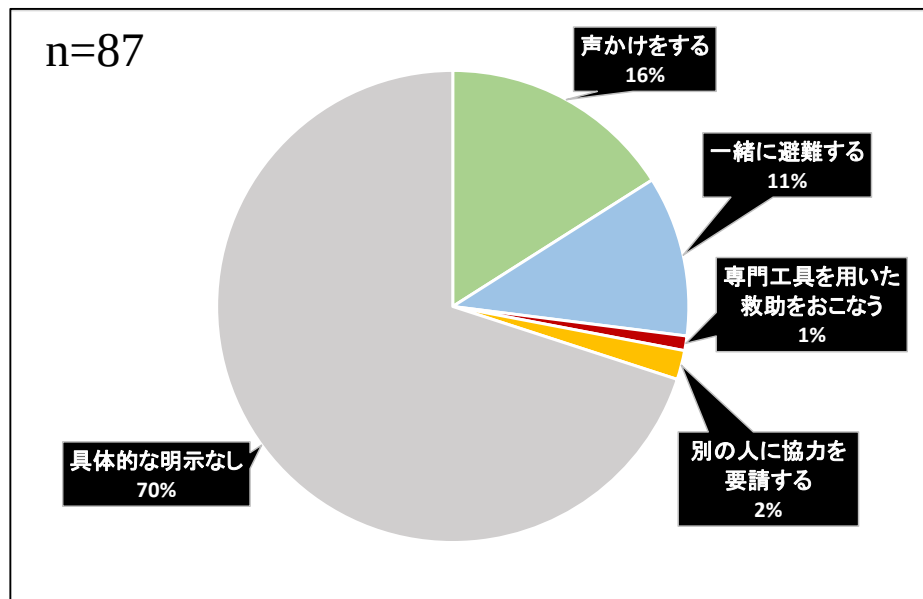


津波が迫る中で、助けを
求める声が。あなたは、
どうする？

京都大学防災研究所
矢守克也研究室

2013秋・住民戸別訪問調査

住民同士、助け合いたい思いは
あるが、具体的な手段・方法が
わからない状況にあった



真陽地区・トラメガ作戦

防災無線が聞こえなくても
情報共有を図りながら
避難誘導・救助活動する
完全撤退の周知もする



写真：真陽地区防災福祉コミュニティ
本部長・中谷紹公氏



真陽地区独自の
“トラメガ作戦”

神戸真陽地区の本年度の取り組み



2015年7月31日, 9月30日, 11月15日

トラメガ検討会と
街中実証実験

津波避難を
呼びかけるための
ツール&ルール

2015年11月2日



簡便に、
かつ、リアルに



真陽地区・トラメガ実証実験結果①



【①食堂の店前】
30秒も経たず半減した。
その後、急に聞こえなくなる。
**近くを車が通り抜けると
聞こえない。**

【②食堂の店内】
テレビを付けた状態で計測。
サイレンの音量は
最初から半分程度しか
聞こえず。**15秒後には
急に聞こえなくなった。**

【③住居内・居間】
テレビを消した状態で計測。
サイレンの音量は
最初から半分程度しか
聞こえず。**30秒後には
急に聞こえなくなった。**

真陽地区・トラメガ実証実験結果②

【⑥C地点・住居内】
実験開始1分経過後から
30秒間程度、聞こえた。
居住者はTVを見ていて、
実験していることに
気付かなかった。

【⑤C地点・屋外】
実験開始1分経過ころから
45秒間程度、聞こえた。
トラメガがマンションの陰に
入ると聞こえなくなる。

【④B地点・屋外】
実験開始30秒後から
30秒間はよく聞こえた。
どんどん近づいてくるため。
通り過ぎると急に
聞こえなくなる。

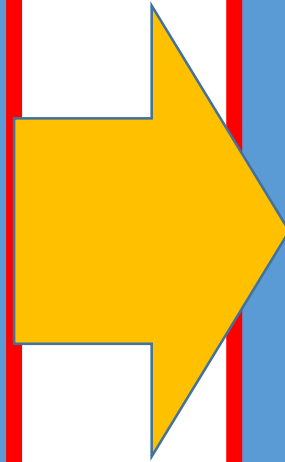


関西大学社会安全学部
近藤誠司研究室

神戸真陽地区の津波避難ルール

津波が来ても無事全員避難！

トラメガ
サイレン



即、避難

真陽ルール

1つの自治会に最低4人のトラメガ隊員を配置する。
(トラメガ隊員の負担と責任を軽減するため)

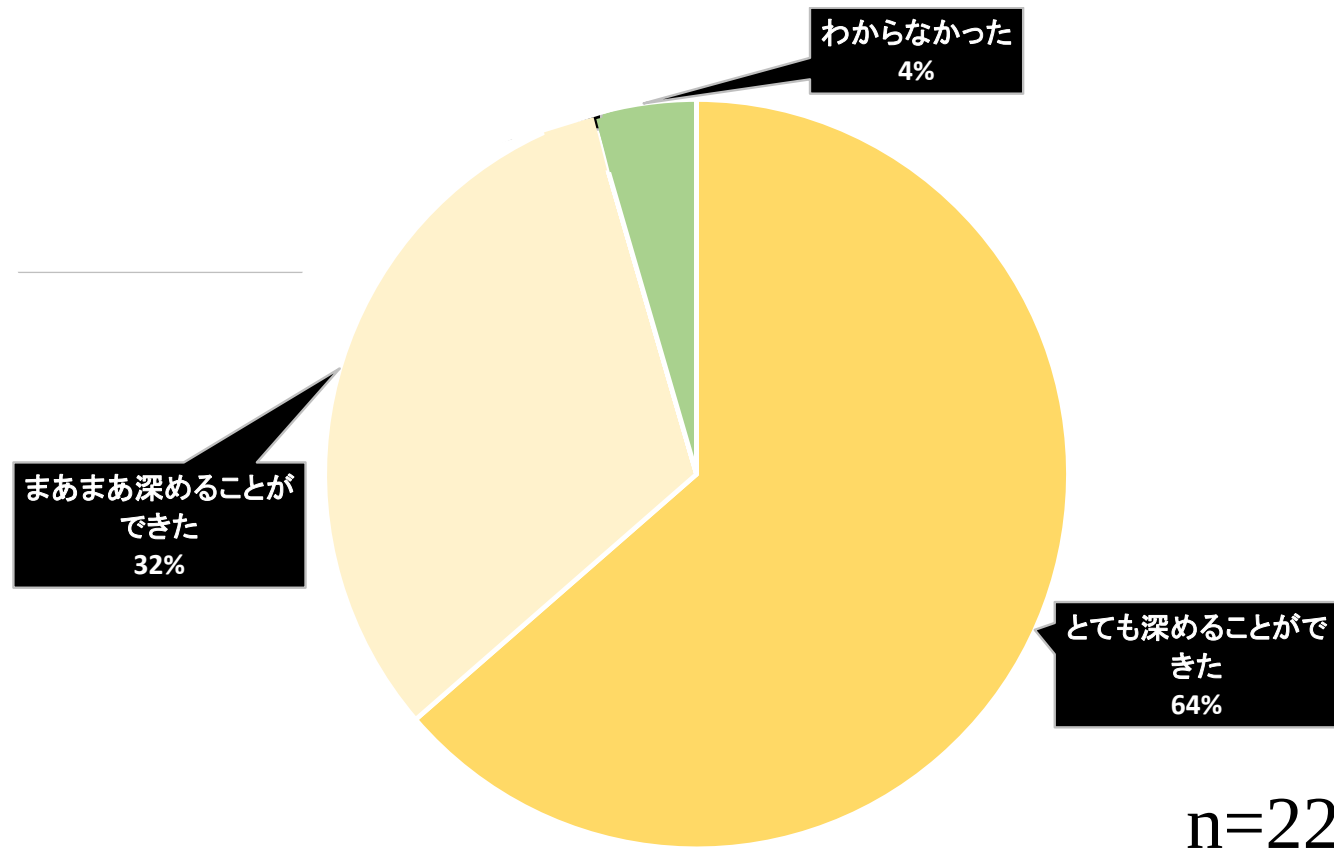
住民には、「トラメガサイレンが長く聞こえたら大津波警報発令」と覚えてもらう (トラメガ隊員は発令を確認後に動けばよい)

さらに住民には、強く長い揺れがあったら、ドアや窓をあけて
情報確認と避難の準備をするよう日頃から周知する

「地震発生後、60分で完全撤退ルール」は堅持するも、
このタイミングでトラメガによる合図を出すかは各自治会判断とする

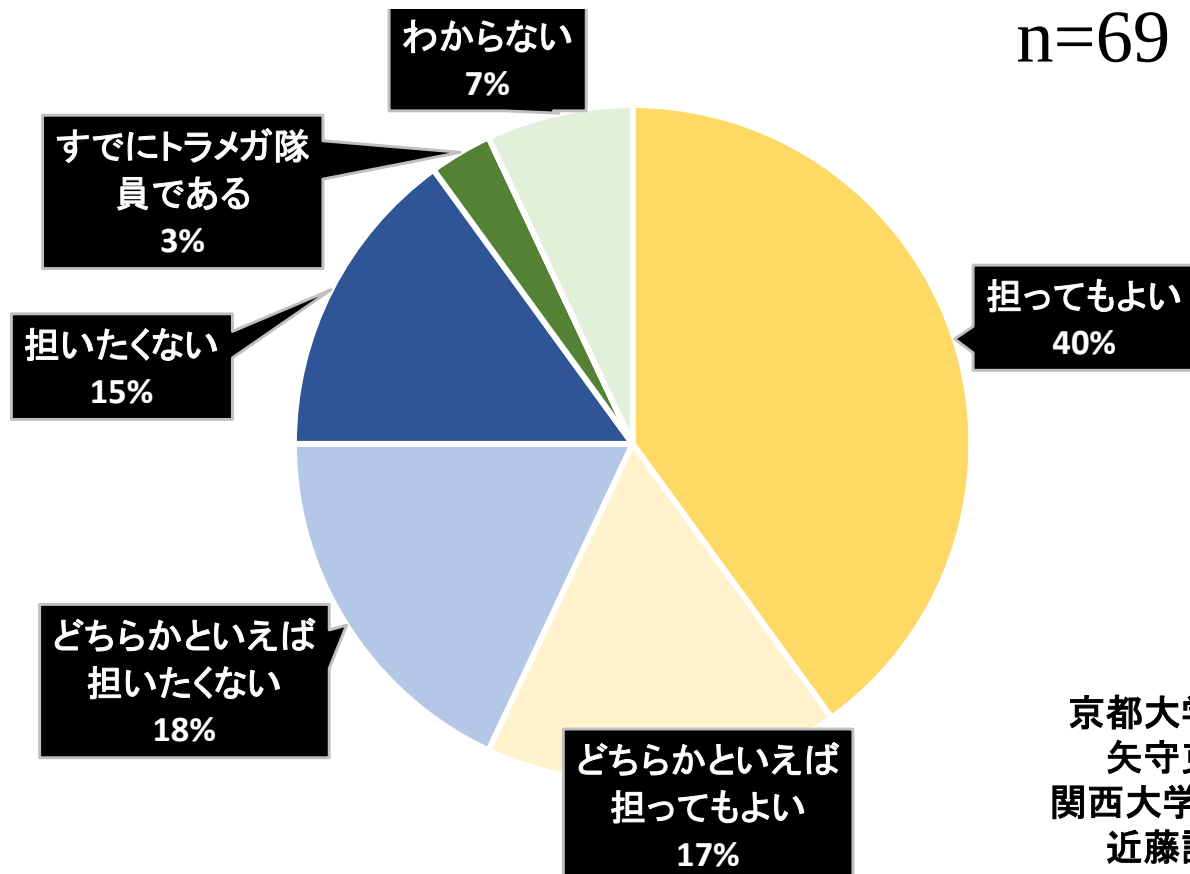
津波避難ルールづくりの効果①

2015年秋・自主防災組織コアメンバーに対する質問紙調査
防災に対する考えは深まりましたか？



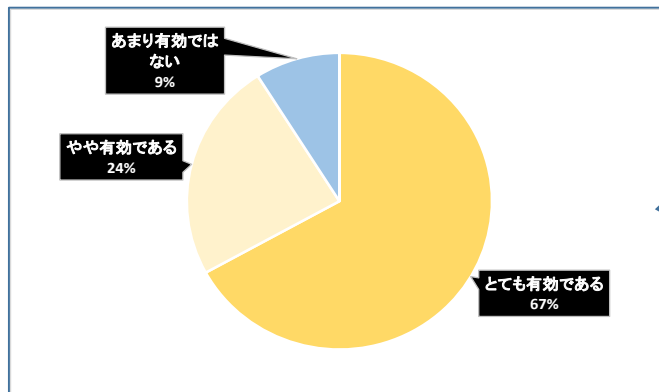
津波避難ルールづくりの効果②

2015年秋・地域住民に対する質問紙調査
トラメガの呼びかけ役を担ってもよいと思うか？

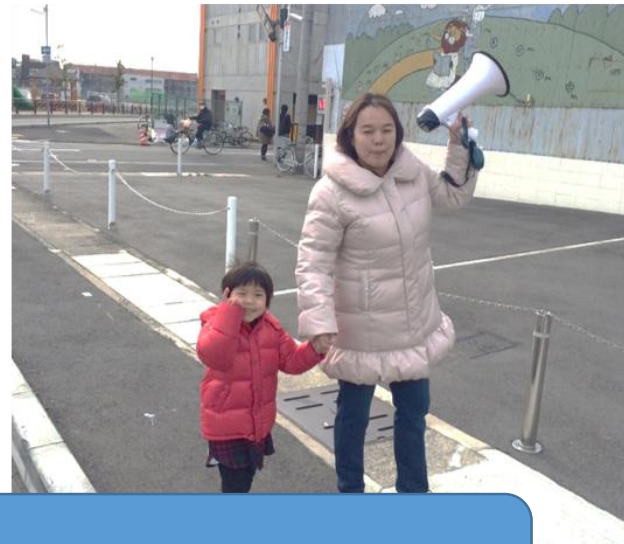


京都大学防災研究所
矢守克也研究室
関西大学社会安全学部
近藤誠司研究室

定着しはじめたトラメガ作戦



トラメガ作戦は
有効だと思うか？
n=101 (2016年1月調査)
9割超が「有効」と回答



あらたな“担い手”も生まれつつある